

写真展「私の好きな杉並」が始まりました

杉並区役所 2 階区民ギャラリーで、区内の写真愛好家 16 名それぞれが、杉並区内のお気に入りの場所を切り取った写真展が始まりました。いつも何気なく通り過ぎる道でも、少し足を止めて眺めてみると、いつもとは違う景色に見えてくるようです。写真展は、5 月 26 日までで午前 9 時から午後 5 時（最終日は午後 3 時まで）までの開催です。（入場無料）

この写真展は、平成 24 年から毎年開催しています。その開催のきっかけは、平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災です。災害時には何と言っても、地域の絆が大切なことを痛感し、その絆を深めるために何かできないかと、同級生の 4 人が中心となって企画したのがこの写真展です。まずは自分たちのまちを知ってもらうために、4 人の共通の趣味である写真を使って、地域の良さを広く伝えることを考えました。

この 4 人の企画に、区内の写真愛好家が賛同し、私の好きな杉並を撮る会が結成されました。そして、この会のメンバーによって、写真展は毎年開催されるようになりました。写真展のテーマは、第 1 回目から変わることなく「私の好きな杉並」です。いつもの買い物に訪れる商店街や散歩道、公園などお気に入りの場所を写真に切り取って紹介してきました。

6 回目の今回の写真展には、会のメンバー 16 人が、それぞれ 2 点を出展しています。木々が生き茂り、みどりのトンネルのように見える坂道、新緑の公園で遊ぶ子どもたち、地域の生活を支える昔ながらの商店街など、普段の暮らし、景色の一部が切り取られ紹介されています。また、こうした写真の撮影場所が地図に示され案内され、自分の目で写真の場所を訪れ確認することもできるようになっています。



写真展に訪れた区内在住の男性は、「見慣れた街並みも写真に収められると素敵ですね。自分のお気に入りの杉並を発見してみたいと思いました。」と話していました。この写真展は 5 月 26 日まで開催されています。

[問い合わせ先]

総務部広報課：TEL 03-3312-2111 内線1502